

情報戦略システム (Strategic Information Systems)		5 年・前期・1 学修単位（β）・選択 情報工学科・担当 松尾賢一	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1（100%）	〔JABEE 基準〕 (d-2a)	
〔講義の目的〕 組織内で使用されるコンピュータデータベースを基盤とした情報システムである経営情報システムは、様々なデータや情報を集積することを目指した。これを用いて、経営に必要な情報を即座に提供する環境を作り出すことで、経営をサポートする一翼の役割を果たすことになった。 この経営情報システムの登場によって、「経営の効率化」が重要視されるようになり、現在に至っては経営を左右する意思決定や戦略の策定までを請け負う「戦略情報システム」が登場し、経営は、効率化から多角化へとその手法が変化してきた。 この講義では、多角的に情報戦略システムを捉えて講義する。そして、後半では、情報戦略システムの仕組みについて講義する。これによって、人間にとって、社会にとって、より良い情報戦略システムを構築するために手段ならびにシステム構築全般の理解を目指す。			
〔講義の概要〕 以下の内容が理解できるように講義を進める。 1. 戦略システムの概念についての理解 2. 人間と戦略システムとの関わりについての理解 3. 情報に基づく行動についての理解 4. 人間の感覚による情報収集活動について理解 5. 世の中の戦略システムの役割についての理解			
〔履修上の留意点〕 理解度を測るレポートを作成してもらうので、講義内容の内容をしっかりと理解すること			
〔到達目標〕 (課題Ⅰ) ある問題に対して、その問題を解決するための道筋や方法を考える力を身につける。 (課題Ⅱ) 戦略システムと人間との関わりを見抜く力を備える。 (課題Ⅲ) 戦略システムによって、生じる問題点とその原因を分析できる能力を身につける。 (課題Ⅳ) ソフトウェアの見地および戦略システムの役割の面から説明できる能力を身につける。			
〔自己学習〕 目標を達成するために、授業以外にも予習復習を怠らないこと。また、発表に際しては十分に準備して授業に望むこと。			
〔評価方法〕 課題レポート 70%と、議論への参加、授業への取り組み（ノート作成を含む）30%を総合して、評価する。定期試験は実施しない。			
〔教科書〕 自主教材を使用する。各自ノートを作成すること。			
〔補助教材・参考書〕 必要に応じて適宜紹介する。			
〔関連科目〕 情報リテラシ、情報セキュリティ、情報工学特論			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	情報戦略システムとは	情報戦略システムとは何かを理解させる。	
第2週	人間の情報活動	人間が日常行っている情報活動について理解させる。	
第3週	情報概論	情報の価値について理解させる。	
第4週	情報行動と情報量	情報に基づく人間の意志の決定プロセスについて理解させる。	
第5週	人間の情報行動	人間が情報行動をする目的する理由について理解させる。	
第6週	感覚と知覚	人間の基本的感覚による情報収集について理解させる。	
第7週	情報メディアとシステム	情報メディアと情報戦略システムの関係について理解させる。	
第8週	高度情報社会の特性	情報メディアと真の情報との乖離について理解させる。	
第9週	組織の成り立ち	組織の成立と情報戦略システムとの関連について理解させる。	
第10週	組織構造	組織構造の違いにより、情報戦略システムの役割が変化することを理解させる。	
第11週	権限とコントロール	組織の権限が情報戦略システムに及ぼす影響を理解させる。	
第12週	システムデザイン	優れた情報戦略システムを構築するための条件について理解させる。	
第13週	情報技術によるシステム	コンピュータを用いたシステムによる世の中の変化について理解させる。	
第14週	情報行動の強化	情報化社会において、個人の情報行動をいかに堅固にしていくのかを理解させる。	
第15週	ソフトウェア的見地からみたシステム	ソフトウェア工学の側面からシステムの見方について理解させる。	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)